接続詞

接続詞は接続語になり、前後の文や語をつなぐ。
接続語の働きには次のようなものがある。

・**順接**…前に述べた内容が、後に述べる内容の原因や理由になる。
（例）だから・すると・したがって

・**逆接**…前に述べた内容から予想されることとは違う内容が後にくる。
（例）しかし・ところが・けれども

・**並列・累加**…前に述べた内容に、後に述べる内容を並べたり、
内容を付け加えたりする。
（例）そして・また・しかも・そのうえ

・**対比・選択**…前後の内容を比べたり、
前後の内容のどちらかを選んだりする。
（例）一方・または・それとも・あるいは

・**説明・補足**…前に述べた内容をまとめたり、理由を述べたりする。
また、内容を補う。
（例）つまり・なぜなら・例えば・ただし・ちなみに

・**転換**…前に述べた内容から話題を変える。
（例）さて・ところで・では

感動詞

感動詞は独立語になり、感動・呼びかけ・挨拶・応答などを表す。
（感動）ああ　（呼びかけ）ねえ
（挨拶）おはよう　（応答）はい・いいえ

まぎらわしい品詞

●「……だ」

・**形容動詞の終止形**
活用があるので、連体形「……な」の形にできる。
（例）ここは 静かだ。 → 「静かな」 ○
副詞「とても」で修飾できる。
（例）ここは 平和だ。 → ここは ○とても 平和だ。

・**名詞＋断定の助動詞「だ」**
「……な」の形にできない。
（例）彼は 中学生だ。 → 「中学生な」 ×
副詞「とても」で修飾できない。
（例）私の 願いは 世界の 平和だ。
→ 私の 願いは 世界の ×とても 平和だ。

●「……な」

・**形容動詞の連体形**
活用があるので、終止形「……だ」の形にできる。
（例）静かな 湖。 → 「静かだ」 ○

・**連体詞**
活用がないので、「……だ」の形にはできない。
（例）大きな 湖。 → 「大きだ」 ×

確認テスト

(1) 次の——線部の接続詞の働きを、それぞれ**ア**～**カ**から選びなさい。

① ずいぶん探した。しかし、どこにも見つからない。
② あそこにいるのは私の妹の娘（むすめ）、つまり、私のめいです。
③ この話は興味深く、しかも、考えさせられる内容です。
④ 今日は雨です。だから、傘（かさ）を持っていきなさい。
⑤ これで終わりますか。それとも、もう少し続けますか。
⑥ 説明は以上です。ところで、明日の準備はできましたか。

ア 順接　**イ** 逆接　**ウ** 並列・累加
エ 対比・選択　**オ** 説明・補足　**カ** 転換

①［　　］　②［　　］　③［　　］
④［　　］　⑤［　　］　⑥［　　］

(2) 次の中から、——線部が感動詞であるものを選びなさい。

ア ふと、窓の外を見た。
イ おや、何かが落ちている。
ウ 先生、質問があります。

［　　］

(3) 次の中から、——線部が形容動詞であるものを二つ選びなさい。

ア 好きな季節は春だ。　**イ** 外の様子が変だ。
ウ 彼女（かのじょ）はいつも元気だ。　**エ** 彼は兄の親友だ。

［　　・　　］

(4) 次の中から、——線部が形容動詞であるものを二つ選びなさい。

ア おかしな話。　**イ** にぎやかな通り。
ウ 小さな机。　**エ** 親切な人。

［　　・　　］